



中央大学学会白門化学クラブ支部

白門化学クラブ会報

第10号（総会開催通知・設立40周年記念誌準備資料）



写真説明：表紙裏をご覧ください。

平成27年3月31日発行
中央大学学会白門化学クラブ支部
〒112-8551
東京都文京区春日 1-13-27
中央大学理工学部応用化学科内
白門化学クラブ事務局
E-mail: hakumon-kagaku
@gakuinkai.com
URL: <http://www.gakuinkai.com/hakumon-kagaku/>

白門化学クラブ支部の皆様へ

NHK 朝の連続テレビ小説“マッサン”が終了しました。

ウイスキー蒸留の独特の形状のポットスチルや研究室の棚に並んだビーカーなど化学を学んだ者として懐かしい思いで聴視していました。

日本の蒸留酒は焼酎です。

平成 17 年の総会で、「企業価値づくりーおぎ焼酎“いいちこ”と歩む経営戦略」と題し、

当時の三和酒類(株)会長熊埜御堂宏實さん(第 17 回昭和 44 年卒)より講演いただきました。

懇親会ではいいちこ製品による焼酎教室で大いに盛り上がりました。同社いいちこ日田蒸留所は工場見学の人気コースとなっており、Web 上に多くの見学記がアップされています。

「酒」が続きます。日本の醸造酒は清酒です。

平成 27 年の総会での講演会には、越後で酒造りの第一線で活躍中の瀬戸晶成さん(第 32 回昭和 59 年卒)に講演いただきます。ご期待下さい。

平成 28 年には、白門化学クラブ支部設立 40 周年を迎えます。根津会報担当幹事が中心となって 40 周年記念誌の編集を開始しました。平成 28 年秋の刊行を予定しています。

過去の資料を調査中、関口勲先生が編集委員長として取りまとめられた“新世紀へのいしずえ”という理工学部創立 50 周年記念誌(1999 年発行)の存在を知りました。その一部、後楽園キャンパス写真と応用化学科の記事を本会報に転載しました。

3 月下旬は、小中高大学の卒業式が集中します。

3 月 25 日の NHK 総合テレビの 7 時と 9 時のニュースで、中央大学八王子キャンパスでの卒業式風景が放映されました。卒業式での東日本大震災復興支援ソング“花は咲く”の合唱が取り上げられました。明るい話題で母校が登場するのはうれしいことです。卒業生にはこの想いを胸に飛び出して行く社会での活躍を祈念します。

支部長 堀中 新一

幹事長 近藤 明義

表紙写真 (上) いいちこ日田蒸留所第 2 製造場 (蒸留) の内部
蒸留器と凝縮器

表紙写真 (下) いいちこ日田蒸留所全景

三和酒類株式会社 (<http://www.iichiko.co.jp>) 提供

* 写真は HP の会報 Web 版ではカラーでご覧いただけます。

中央大学学生会白門化学クラブ支部
平成 27 年度総会・講演会並びに懇親会
開催のお知らせ

会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、今年も後楽園キャンパスにおいて支部総会を下記の通り開催いたします。
今回も講演会と懇親会を計画しております。ご家族や会員でない方もお誘いの上、多くの
方々にご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日時：平成 27 年 6 月 27 日（土） 13 時 30 分～17 時 10 分（予定）
2. 場所：中央大学後楽園キャンパス
- ① 総会：13 時 30 分～14 時 00 分
場所：*号館 *階 ****号室（確定後、ご連絡いたします。）
- ② 講演会：14 時 00 分～15 時 00 分
場所：同上
テーマ：「越後の酒はなぜ美味しいのか」
講演要旨：基本的な酒の話と新潟の酒造り、他県にない新潟独自の取り組みを交えて
お話いたします。新潟の酒を尋ねてみようというお気持ちになっていただければ幸いです。
講師：瀬戸 晶成 緑川酒造株式会社管理部部長（第 32 回昭和 59 年卒）

移動

- ③ 懇親会：15 時 10 分～17 時 10 分
場所：5 号館地下 1 階 学生食堂
3. 会費：会員並びに卒業生 7,000 円 ご家族（中学生以下無料）3,000 円
会費は、当日申し受けます。
4. その他
- ① 受付は、総会・講演会会場入り口で行います。
- ② 懇親会での飲み物等ご寄贈を歓迎します。
- ③ 同封した「**出欠はがき**」は**6 月 10 日**までに必着でご返信願います。
- ④ 当日連絡先：白門化学クラブ支部長 堀中 新一 Mobile Tel 090-3531-5680

以上

応 募

中央大学学会支部会報コンテスト（平成 26 年度事業） 会報第 9 号で応募しました。

人の動き

よろしくお願ひします（入会）

横井誠之輔（第 15 回昭和 42 年卒）愛知県安城市在住

長田伸広（第 37 回平成元年卒業）千葉県旭市在住

惜 別

大塚明彦君を偲んで

橋澤 晃（第 8 回昭和 35 年卒 千葉県佐倉市在住）

大塚ホールディング株式会社代表取締役会長として
君臨していた大塚君が旅立たれたとの報に接し、

（平成 26 年 11 月 28 日死去）親友との別れの悲しみ
と無念さで一杯でありました。

大塚君とは第 8 回生として、入学以来、半世紀以上の
付き合いになります。学生時代から真面目で温和な性格
で、級友の信頼が大でありました。彼が大塚製薬株（徳
島県鳴門市発生の地）の創業家の三代目だと知ったのは、
入学間もない頃でした。彼はこの事について一切ふれず、
共々楽しく学生生活を過ごしました。小生はこの時から
三代目として、彼の大成を願い関心を持ちました。

卒業後、彼は当然大塚製薬株に、小生は日本曹達株に
入社しました。大阪出張の際、時間を見ては、彼の会社
を訪問し交流が続きました。会う度に彼の部署、地位が
異なっているのを見て帝王学を学んでいるのでと痛感しました。いずれにしても快く面談
の機会を与えてくれたことに、人柄の良さと級友を思う心の優しさが表れています。小生
にはそれとなく、「二度と無い人生頑張れよ。」と面談の別れの際に激励してくれたことを
昨日の事のように思い出されます。

昭和 51 年 38 才で大塚製薬株代表取締役社長に就任し、経営トップとしての本格的な活
躍が始まり、一般新聞で報道された如く、「ボンカレー」、「ポカリスエット」、その他医薬
品等の開発の成功により業容拡大を実行、同時に国際化を推進し、「世界の大家」への発展



大塚君（右）と筆者

に多大な貢献をし、経営者として確固たる地位を築くに至りました。

また多忙の所、級友を鳴門に招待しクラス会を開催しました。八月の鳴門の阿波おどりの期間で、昼間は工場と渦潮見学、夜は本場の阿波おどり見学と盛大な懇親会で楽しい時間を過ごしたことは忘れえぬ出来事でした。この様な思い出を作ってくれた彼の気配りには心から感謝しています。



鳴門 大塚製薬(潮騒荘)をバックに 後列左から二人目が大塚君

前後しますが、創業家を出発点とした企業の多くが地域または社会貢献として美術館を開館しています。大塚グループも「大塚国際美術館」として開所し、今やツアー旅行のコースに組み入れられる程に定着しました。これも彼の功績の一つであります。もう一つは、総仕上げとして一族経営から上場企業へと展開させたことです。大変なプレッシャーがあったと想像出来ますが、経営トップとして立派に三代目の役割りを果たし、後輩に引き継ぐことになりました。本当にお疲れ様でした。

我ら8回生は君の活躍を心から誇りに思っています。長い間の交流を感謝しております。有難うございました。

大塚君のご冥福を心からお祈りいたします。

(平成27年3月記)

白門化学クラブ40周年記念誌 発刊に向けて

ここ1年間ぐらい40周年記念誌発刊に向けた準備作業として、資料の整理や発掘に努めてきましたが、何とか発刊できる準備が整いました。あとは会員の皆様より原稿や資料をいただき、それによって、どのような冊子にするか検討したいと思っています。大学時代の思い出やエピソード、今と昔の違い、今後への期待など、どのような内容でも構いませんのでぜひご投稿ください。発行は1年ぐらい先になるかと思いますが、原稿は下記の要領で早めに集めたいと思います。ご協力の程よろしく申し上げます。

記

- ① 字数800字から1200字程度
(写真や資料などもあれば一緒にお送りください。)
- ② 形式は問いませんが電子媒体で作成した原稿や写真などはなるべくメールでお願いします。
- ③ 手書きでいただいたものは、こちらで打ち込みますので遠慮なさないでください。
- ④ 原稿はお返しできませんが、写真や資料は記念誌と一緒に返却させていただきます
- ⑤ 締め切り 5月15日
- ⑥ 送り先
氏名 根津達郎
郵便番号 142-0041
住所 東京都品川区戸越6-7-12
電話番号 03-3784-0395 (留守電・FAX対応)
メール ta2nobu4ge@yahoo.co.jp

ご執筆のための参考資料

- * (整理中) 総会・講演会年表 (P.7)
- * (整理中) 歴代支部役員一覧(P.8,9)
- * (整理中) 「白門化学クラブ会報」目次(P.10)
- * (整理中) 「学員時報」白門化学クラブ関係記事一覧 (P.11)
- * 「新世紀へのいしずえ 中央大学理工学部創立50周年記念誌」
編集発行 中央大学理工学部創立50周年記念誌編集委員会
1999年10月1日発行 (P.12~25)

白門化学クラブ総会・講演会年表

回数	講演会開催年月日	場所	参加数	講演者	演題(記事)
1	昭和51年 1976年3月22日				
2	昭和52年 1977年4月23日	「割烹もとみや」(神田)	20	—	—
3	昭和53年 1978年4月14日		20	—	—
4	昭和54年 開催せず			—	—
5	昭和55年 1980年6月6日		30	—	—
6	昭和56年 1981年10月30日	電電中野クラブ	30	小野田明生(5)	「今日の韓国」
7	昭和57年			—	—
8	昭和58年 1983年10月14日		15	—	—
9	昭和59年 1984年11月16日	電電中野クラブ	18	秋山 堯(7)	「ブラジル事情あれこれ」
10	昭和60年 1985年10月25日			町出 保(2)	「仏教と進歩」
11	昭和61年 1986年10月24日		13	—	—
12	昭和62年 1987年10月24日		18	国谷保雄先生	「ドイツの大学・日本の大学」
13	昭和63年 1988年11月20日		23	(学員会100周年記念式典及び祝賀会に参加)	
14	平成1年 開催せず	—	—	—	—
15	平成2年 1990年10月23日～24日	中央大学葉山寮	28	—	(初めて一泊で開催)
16	平成3年 1991年11月16日～17日	中央大学葉山寮	22	—	
17	平成4年 開催せず	—	—	—	—
18	平成5年 1993年11月6日～7日	中央大学葉山寮	25	—	—
19	平成6年 1994年11月19日～20日	中央大学葉山寮	19	—	—
20	平成7年 開催せず	—	—	—	—
21	平成8年 1996年10月19日～20日	中央大学葉山寮	25	—	—
22	平成9年 1997年11月8日～9日	「天松登」(葉山町)	32	—	—
23	平成10年 1998年11月14日～15日	「大海荘」(葉山町)	24	—	—
24	平成11年 開催せず	—	—	—	—
25	平成12年 2000年12月2日～3日	「天松登」(葉山町)	28	—	—
26	平成13年 2001年11月10日～11日	中央大学葉山寮	19	—	—
27	平成14年 2002年11月9日～10日	中央大学葉山寮	19	—	—
28	平成15年 2003年11月29日	中央大学後楽園キャンパス	48	杉本八郎(17)	「新薬にかける夢」
29	平成16年 2004年10月2日	中央大学後楽園キャンパス	44	我妻一美(17)	「発展途上国における工場造り」
30	平成17年 2005年10月29日	中央大学後楽園キャンパス	45	熊埜御堂宏實(17)	「いいちこと歩む企業戦略」
31	平成18年 2008年10月28日	中央大学後楽園キャンパス	37	柴 真(7)	「かまぼこのサイエンス」
32	平成19年 2007年10月20日	中央大学後楽園キャンパス	35	高橋光安先生	「万葉植物園」
33	平成20年 開催せず	—	—	—	—
34	平成21年 2009年10月3日	中央大学後楽園キャンパス	38	滝沢孝一(11)	「国宝・重要文化財に使う古糊」
35	平成22年 2010年9月25日	中央大学後楽園キャンパス	24	八田幹夫(7)	「特許制度から知的財産の世界へ」
36	平成23年 開催せず(東日本大震災)	—	—	—	—
37	平成24年 2012年6月9日	中央大学後楽園キャンパス	36	森下 悟(11)	「環境汚染に挑む吸着技術」
38	平成25年 2013年6月15日	中央大学駿河台記念館	27	須藤 繁先生	「シェールガス革命と日本」
39	平成26年 2014年6月21日	中央大学後楽園キャンパス	50	—	「中田常雄先生を偲ぶ会」
40	平成27年				

白門化学クラブ役員一覧

役員氏名 [就任順:()は卒業生]	役 職 及 び																		
	昭 和																		
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6
中田常雄 (1)	支 部 長																		
小野田明夫 (5)	副 支 部 長																		
牧吉雄 (1)	幹 事																		
町出保 (2)	幹 事																		
大西龍介 (3)	幹 事																		
山根省三 (4)	幹 事																		
山内貞男 (5)	幹 事																		
秋山堯 (7)	幹 事																		
阿部二郎 (7)	会 計																		
齋藤好雄 (11)	会 計																		
栗原功 (7)	監 査																		
柳奥茂樹 (25)	幹 事																		
小森尚夫 (7)	監 査																		
鶴岡健一郎 (7)	幹 事																		
安藤興治 (11)																			
近藤明義 (11)																			
堀中新一 (10)																			
松石洋一 (29)																			
瀬戸晶成 (32)																			
中西秀夫 (29)																			
田澤和久 (29)																			
大嶋久義 (15)																			
林正道 (16)																			
住吉宏明 (35)																			
滝沢孝一 (11)																			
平林夕佳 (43)																			
峯岸修三 (16)																			
根津達郎 (15)																			

白門化学クラブ会報 記事一覧(寄稿分)

敬称略

号 発行年月日	題名
第1号 2010年3月1日	第29回総会特集
第2号 2010年8月19日	「近況報告(短信)」中田常雄(第1回昭和28年卒)他20名
第3号 2011年3月31日	平成22年度総会特集 「孫と遊ぶ」根津達郎(第15回昭和42年卒) 「春の息吹と地産池消」熊埜御堂宏實(第17回昭和44年卒) 「50年目の集まり」清水康光(第8回昭和35年卒) 「近況報告」森田光夫(第27回昭和54年卒)
第4号 2011年9月30日	会員寄稿特集 「東日本大震災・津波で消えた故郷を訪ねて」阿部富男(第13回昭和40年卒) 「近況」高倉英壽(第25回昭和52年卒) 「近況報告」金嶋八郎(第2回昭和29年卒) 「近況報告」増田哲彦(第27回昭和54年卒) 「アナログの思い出」葉山康雄(第17回昭和44年卒) 「高分子化学加茂研究室の思い出」滝沢孝一(第11回昭和38年卒) 「近況報告」加藤真哉(第25回昭和52年卒) 「惜別 金井武夫君を偲んで」高岸義一(第10回昭和37年卒)
第5号 2012年3月31日	総会案内・会員寄稿 「雪との戯」太田 清(第11回昭和38年卒) 「東洋大学で学生諸君と歩んだ47年間」松永勝治(第11回昭和38年卒) 「終の棲家」渡辺克洋(第13回昭和40年卒/昭和42年修了) 「輸出における理不尽な放射能検査」瀬戸晶成(第32回昭和59年卒) 「新入会員自己紹介シート」宮川弘一(第31回昭和58年卒)
第6号 2012年10月31日	平成24年度総会特集 「齢・重ねて思うこと」金寿幸男(第5回昭和32年卒) 「卒業してから54年、今思うこと」野口 茂(第7回昭和34年卒) 「総会に出席して」江本房利(第8回昭和35年卒) 「惜別 清水康光さんを偲んで」橋澤 晃(第8回昭和35年卒)
第7号 2013年3月31日	総会案内・会員寄稿 「喜寿を迎え、さらに前進」関口 勲(第6回昭和33年卒) 「「サプライズ」あれこれ」永井 仁(第9回昭和36年卒) 「物作り46年を回顧して」佐藤義明(第11回昭和38年卒) 「東日本大震災・津波で消えた故郷を訪ねて」=第2報(故郷の近況報告)阿部富男(第13回昭和40年卒) 「近況報告」宮崎智範(第26回昭和53年卒) 「中大技術士会の活動」金川 護(第8回昭和35年卒) 「惜別 田雑美百合君を偲んで」栗原 功(第7回昭和34年卒)
第8号 2013年10月31日	総会・懇親会・講演会報告
第9号 2014年10月10日	総会・中田常雄先生を偲ぶ会報告 「惜別」(表題省略) 関口 勲(第6回昭和33年卒) 栗原 功(第7回昭和34年卒) 田中義暉(第7回昭和34年卒) 八田幹夫(第7回昭和34年卒) 金川 護(第8回昭和35年卒) 江本房利(第8回昭和35年卒) 野口茂司(第8回昭和35年卒) 鳥居政雄(第11回昭和38年卒) 邑松康光(第12回昭和39年卒) 大賀文博(第14回昭和41年卒) 林 正道(第16回昭和43年卒) 峯岸修三(第16回昭和43年卒) 杉本八郎(第17回昭和44年卒) 我妻一美(第17回昭和44年卒) 柳奥茂樹(第25回昭和52年卒) 田家鉄雄(第29回昭和56年卒) 伊東秀和(第39回平成3年卒) 「44年前の思い出」葉山康雄(第17回昭和44年卒)

「中央大学学員時報」に掲載の「白門化学クラブ」関連記事

号数	発行年月日	記事の見出し題名
第105号	昭和51年(1976)5月10日	『白門工業化学クラブ支部』(昭和28年に第1回卒業生) (副支部長小野田明夫)
第112号	昭和51年(1976)10月10日	『はばたけ後輩たち』「理工学部工業化学科の巻」 (支部長中田常雄)
第119号	昭和52年(1977)5月10日	『白門工業化学クラブ支部』総会の報告 『留学(理工学部 関口 勲 教授)』
第132号	昭和53年(1978)6月10日	『家族的雰囲気でごやかに』第3回化学クラブ支部総会の報告
第162号	昭和55年(1980)12月10日	『ポルトガル雑感』 中田常雄
第168号	昭和56年(1981)6月10日	『雑感』 石黒鉄郎
第174号	昭和56年(1981)12月10日	『新入会員51名でより充実』第5回 総会の報告
第206号	昭和59年(1984)8月10日	『海外で味わった母校』 小野田明夫
第210号	昭和59年(1984)12月10日	『秋山氏が「ブラジル事情あれこれ」を講演』第8回支部総会の報告
第223号	昭和61年(1986)1月25日	『安藤理工学部教授にオーストリア共和国友好功労章』
第224号	昭和61年(1986)2月25日	『世界の酸性雨防止と日本の貢献』 安藤淳平
第239号	昭和62年(1987)5月25日	『支部長等表彰者(当支部から阿部二郎氏(7))を承認』学員幹事会
第259号	平成1年(1989)1月25日	『白門化学クラブ支部に名称変更』「白門工業化学クラブ」
第274号	平成2年(1990)4月25日	”提言”「母校と学員会発展のために」 中田常雄 『企業とOBとの連携に工夫を』理工・学科支部の結成に尽力を
第281号	平成2年(1990)11月25日	”随想”『地球環境と科学技術の限界』 安藤淳平理工学部教授(環境化学)
第307号	平成5年(1993)3月25日	『学園を去る教授たち』定年退職に思いこもごも 「失敗を恐れない」 石黒鉄郎(理工学部教授)
第352号	平成9年(1997)4月25日	『中田常雄先生をご慰労』理工学部工化・応化同窓会(滝沢孝一)
第381号	平成11年(1999)12月25日	『理工学部創立50周年を祝う』記念式典、祝賀会等多彩な行事を
第393号	平成13年(2001)1月25日	『新支部長に小野田明夫氏』白門化学クラブ支部
第427号	平成17年(2005)1月25日	『母校の学舎で総会を開催』白門化学クラブ支部
第429号	平成17年(2005)5月25日	『杉本八郎氏を客員教授に迎える』-アルツハイマー病治療薬開発-
第432号	平成17年(2005)11月25日	『杉本八郎客員教授に名誉博士号』日本人としては3人目
第433号	平成18年(2006)1月25日	『後楽園キャンパスに集う』-白門化学クラブ支部-
第438号	平成18年(2006)11月25日	『理工学部の船造教授がアンモニア溶液で塩ビ樹脂から塩素を低温で除去する技術を開発』
第464号	平成22年(2010)7月25日	シリーズ ”あの学員に聞きたい” 京都大学大学院薬学研究科最先端創薬研究センター客員教授 『杉本八郎さん』(1969年理工学部卒) 「いくつもの逆境を乗り越え、アルツハイマーの特効薬を開発」
第467号	平成23年(2011) 月25日	『進化する後楽園キャンパス』白門化学クラブ支部(幹事・林正道)
第478号	平成24年(2012) 月25日	白門化学クラブ『森の緑と融合した後楽園キャンパス』 (幹事・林正道)
第 号	平成25年(2013) 月25日	『白門化学クラブ 総会・講演会・懇親会を開催』(幹事・林正道)
第 号	平成26年(2014) 月25日	『白門化学クラブ第33回総会を開催「中田先生を偲ぶ会も」』 (幹事・根津達郎)

編集後記

お蔭様で今回も皆様の協力で、何とか期限内に発行することができました。



特に表紙写真につきましては熊埜御堂様に無理をお願いし、広報担当の三好様にもご協力頂きました。

また資料に関しては江本様はじめ多数の方にお世話になりました。関係の皆様にも心より感謝いたします

感謝の気持ちと会報発行を祝って「いいちこ」で乾杯したいと思います。

今後とも、よろしく申し上げます。

会報担当幹事 根津達郎